

令和6年

第17回教育委員会会議 議事録

秋田県教育委員会

令和6年第17回教育委員会会議 議事録

1 期 日 令和6年11月7日 木曜日

2 場 所 教育委員室

3 開 会 午後2時

4 閉 会 午後2時30分

5 出席者 教育長 安田 浩幸
委 員 吉村 昌之
奥 真由美
松塚 智宏
大塚 美穂子
高橋 重剛

6 説明のための出席者

教育次長	小林 栄幸	教育次長	藤澤 修
総務課長	高島 知行	特別支援教育課長	熊谷 司

7 報告事項

- (1) 第22回秋田県特別支援学校文化祭について
- (2) 特別支援学校就労促進フェアについて

8 会議の要旨

【安田教育長】

ただいまから、令和6年第17回教育委員会会議を開催いたします。

議事に先立ちまして、委員の異動について申し上げます。

大塚和歌子委員が10月30日、伊勢昌弘委員が10月31日をもって退任されました。後任として、10月31日付けで大塚美穂子委員、11月1日付けで高橋重剛委員が就任されましたので、ご紹介いたします。

大塚委員、高橋委員から一言ごあいさつをお願いいたします。

【大塚委員】

能代市に住んでおります、大塚美穂子と申します。小児科の勤務医です。発達障害や不登校の子たちを診察しており、県北地域の先生方とは交流がありますが、県の仕事ということでみなさんにいろいろ教えてほしいと思います、よろしくお願いします。

【高橋委員】

弁護士の高橋と申します。お話をいただいてから、とうとうこの日が来たかと身が引き締まる思いでおります。弁護士としてのこれまでの知見や、育児に携わる親として、我が県の教育の発展に努めて参りたいと思いますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

【安田教育長】

委員の交代に伴って、座席番号を変更いたします。

新たな座席番号は、1番吉村委員、2番奥委員、3番松塚委員、4番大塚委員、5番高橋委員としますので、よろしくお願いいたします。

本日の議事録署名員は1番、吉村委員と2番、奥委員にお願いいたします。

【安田教育長】

はじめに、報告事項「第22回秋田県特別支援学校文化祭について」特別支援教育課長から説明をお願いします。

【特別支援教育課長】

「第22回秋田県特別支援学校文化祭」について概要説明

- ・今年度は、「あたらしいとびらをひらこう スマイル・スマイル」のキャッチフレーズのもと、わくわく美術展、みんなの写真展、わくわくShow time等を開催する。
- ・全県各地の多くの方々に、特別支援学校及び特別支援学級で学ぶ児童生徒の作品を見ていただき、特別支援教育に対する関心を高め、理解を促進したいと考えている。

【安田教育長】

ただいまの説明について何か質疑等ございませんか。

【奥委員】

わくわくShow timeのオンライン鑑賞は今年度も関係者のみ視聴可能と書かれていますが、一般の方に公開しないのか教えてください。

【特別支援教育課長】

そのような要望は毎年いただいておりますが、子どもの写真等をホームページに掲載する場合、プライバシーや著作権がありますので、今年も関係者のみ視聴可能としております。

まだ検討段階ですが、来年度の全国高等学校総合文化祭プレ大会ではステージ発表とオンライン配信を予定しております。今年は関係者限定ということで、ご理解をお願いします。

【松塚委員】

わくわくShow timeは、当初はオンデマンド配信がなく、ライブ配信のみだったようですが、オンデマンド配信により保護者や親戚など、いろいろな方がいつでも視聴できるようになったので、うれしいことだと思います。ぜひ継続してほしいです。

【安田教育長】

他になれば、次に「特別支援学校就労促進フェアについて」特別支援教育課長から説明をお願いします。

【特別支援教育課長】

報告事項（2）「特別支援学校就労促進フェアについて」説明概要

- ・県内の事業主や企業関係者をはじめ、広く県民に特別支援学校の生徒や、職業教育に対する理解と特別支援学校生の就労促進に対する理解を図ることを目的として県内3地区で開催する。
- ・働きたいという思いや、学校での学びを生徒が伝える実践発表を行うほか、秋田県特別支援学校技能競技会の実施、作業製品の販売会及び展示等を実施する。
- ・各地区の企業関係者が広く参加するよう、関係機関と連携し、呼びかけを行っている。
- ・各地区で行われる技能競技会は、ビルクリーニング、喫茶サービス、ワードプロセッサの3種目で行う。

【安田教育長】

ただいまの説明について質疑等ございませんか。

【吉村委員】

技能競技会について、以前は地区によって種目が違っていたと思うのですが、種目について増減などの変化はありますか。また、毎年何社ほどの企業が参加していますか。

【特別支援教育課長】

技能競技会の種目については、昨年度は県北地区に縫製競技がありましたが、今年は参加者がいなかったため廃止しました。他の地区はこれまでと同じで、結果的に3地区が同種目になりました。また、昨年度受付した参加企業等は3地区合わせて99社です。労働局の事業とタイアップさせていただいて、積極的に働きかけていただいております。

【吉村委員】

多くの企業に参加していただいておりますが、特別支援学校文化祭のわくわくShow timeと同様に、企業や商工会だけでなく、たくさんの方に知っていただくのが一番大事だと思います。子供たちの、就業や自立につながる場所だと思いますので、そういう機会が増えるよう力を入れてほしいと思いました。

【大塚委員】

参加企業の方々は、ほとんどが障害者枠での就労を望んでいらっしゃるのでしょうか。

【特別支援教育課長】

それぞれの企業に確認はしていませんが、障害者雇用をするという前提で来ているわけではないです。ただ、労働局が周知している企業は、おそらく障害者雇用率が未達成の事業所や、障害者雇用に関心を持っているところだと思います。障害のある子どもたちへの理解促進や、地域とのつながりに関心を持つ企業もあります。

【安田教育長】

「フェア」なので、子どもたちの活動を見てもらうというのがまず一番で、そこから就職につながるケースもあると思われる、ということですね。

【奥委員】

競技会の種目の中で、例えばもう少し高度な技術の種目を新設するのはどうでしょうか。また、ワードや、特にエクセルのような競技もあるとよいと思うのですが、いかがでしょうか。

【特別支援教育課長】

2つのご質問をまとめてお答えします。エクセルに関しては、県教育委員会の主催ではないですが夏に全国大会につながる障害者技能競技大会がございまして、その種目の中に表計算部門があり、パソコンのデータ入力もあります。競技会の種目でワードプロセッサがあることについては、表計算等は様々な障害のある方には難しい面があるので、特別支援学校で取り入れており、参加者も比較的多いと思われるワードの入力を選択しました。さらに難易度の高いことができるという方は全国大会につながる障害者技能競技大会（アビリンピック）に出ることになります。

【高橋委員】

ワードプロセッサでは、こういった文書を作るのか、イメージを教えてください。

【特別支援教育課長】

文章とイラストのついた案内状の見本に沿って、A4サイズの紙1枚に文字や必要なものを入力して時間内に完成させる競技です。

【安田教育長】

予定された案件は以上ですが、他にございませんか。

特になければ、以上で本日の会議を閉じます。お疲れさまでした。